

報道関係各位

SANYOCOAT 80周年アニバーサリー企画
花柄のカットワーク刺繍が際立つスペシャルトレンチコートを発売。
日本の職人の熟練した技と熱い思いを込めて。



三陽商会が展開するコート専門ブランド「SANYOCOAT(サンヨーコート)」は、今年ブランド誕生から80周年を迎えました。「SANYOCOAT」は、コート専門57年の自社工場「サンヨーソーイング 青森ファクトリー」(青森県七戸町)において高品質な製品を生み出し続け、ジャパンメイドならではの魅力を磨き続けてきました。その節目を記念する1枚として、『100年コート』のギャバジンに花柄のカットワーク刺繍をあしらった『エンブロイダリートレンチコート』を、店舗及び当社公式オンラインストアで販売を開始しました。石川県のエンブロイダリーレース産地で、60年の歴史を持つ工場が刺繍とカットワークを行った生地を、「サンヨーソーイング 青森ファクトリー」が丁寧に縫製しました。日本の匠の技が結集したスペシャルなトレンチコートです。

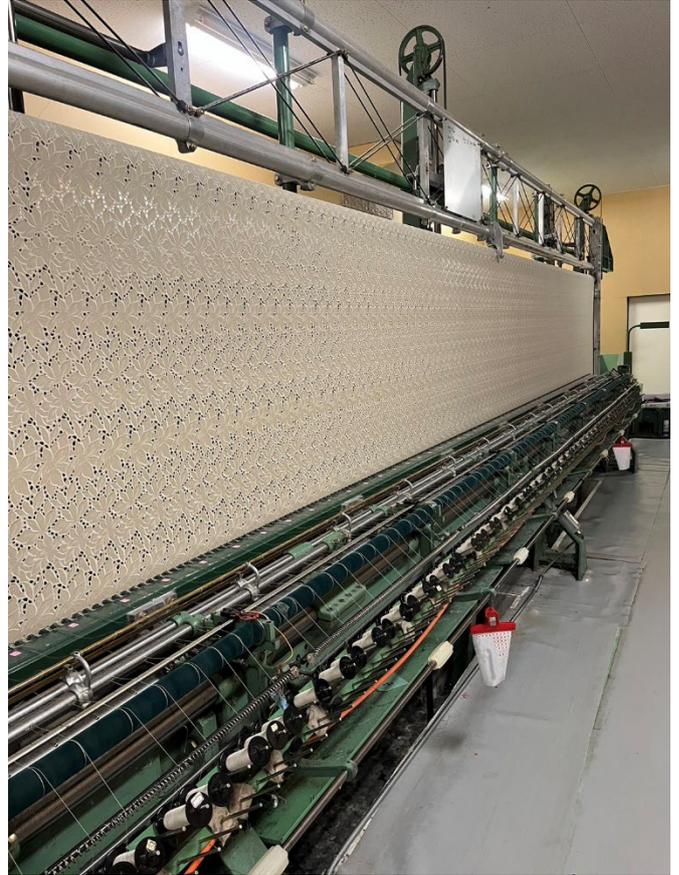
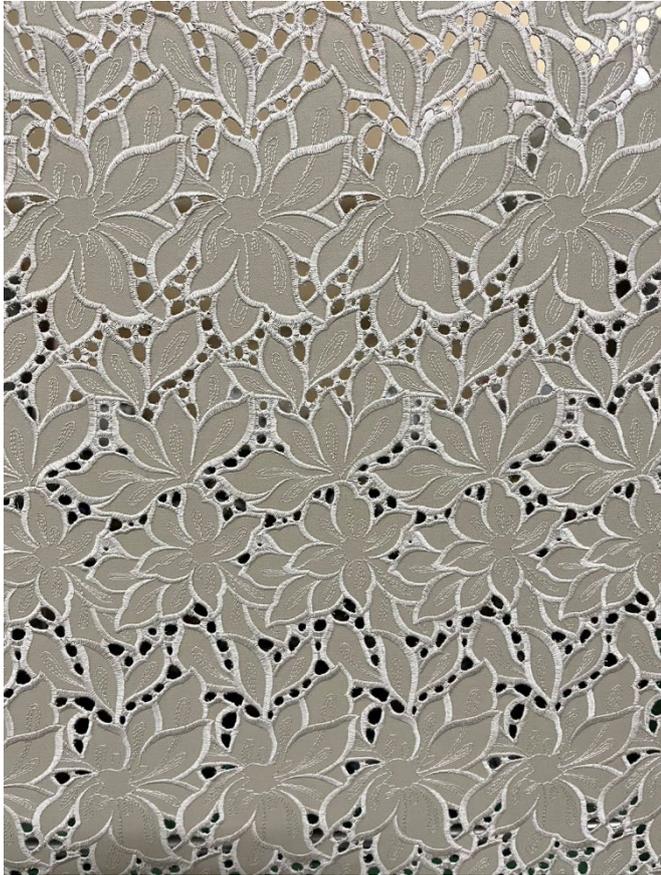
『エンブロイダリートレンチコート』紹介ページ URL

<https://store.sanyo-shokai.co.jp/blogs/feature/lsc-20260325>

■『エンブロイダリートレンチコート』生産工場について

- ① 日本有数の産地が担う卓越した刺繍とカットワーク

コート全面に施された印象的な刺繍とカットワークは、日本有数のエンブロイダリーレース産地として知られる石川県にある工場が手掛けています。広範囲にわたる刺繍加工を高い完成度で仕上げるには、熟練の技術と徹底した管理が欠かせません。とりわけカットワークに用いられる“ボーラー針”は、わずかな状態の違いが仕上がりを左右する繊細な要。職人の手によって丁寧にメンテナンスされ、その精度が保たれています。国内でも屈指の技術を誇る職人技が、この立体的な刺繍表現を支えています。



エンブロイダリーレースの刺繍工場

②繊細な刺繍を真に引き立てる精度を追求した縫製力

縫製は、コートづくりの技術を長年培ってきた「サンヨーソーイング 青森ファクトリー」が行っています。1969年の工場創業以来「SANYOCOAT」の生産拠点となってきたコート専門の自社工場です。可動域を確保しながら、自然なラインを描く構造を美しく成立させるため、裁断から組み立てまで、工程ごとに細やかな調整を重ねています。繊細なエンブロイダリー素材は、わずかな縫い目の違いでも印象が変わる生地。刺繍独特の表情を損なわないよう、縫い目の出方や縫製バランスにまで配慮し、負荷をかけすぎない仕立てを徹底。随所に光る熟練職人の手作業が、その完成度を高めています。



手作業による縫製工程

■商品の特徴

刺繍、素材、パーツを緻密に組み合わせたディテールから生まれる陰影と立体が特徴の表情豊かなエンブroidアリートレンチコート。

① 上質なコットンギャバジンと卓越したカットワークから生まれる優美な生地



【春を告げる水仙の花をイメージした生地】

花びらが重なり合う陰影を、生地一面に描いたエンブroidアリー。モチーフは、春を告げる水仙の花。大胆なシルエットを繊細なステッチとカットワークでモダンに表現しています。生地の基本は、80番手双糸を高密度に織り上げた上質なコットンギャバジン。技巧の映える刺繍と上質な素材が重なり合うことで、トレンチコートに深みのある陰影とさりげないリズムをもたらします。

② ディテールへのこだわり



【貝ボタン】

フロントや袖口に配された貝ボタンは、光を受けてやわらかく艶めき、繊細なエンブroidアリーのさりげないアクセントに。自然素材ならではの表情が、コートに優しく上質な印象をもたらします。



【レザーバックル】

ウエストや袖のレザーバックルは、ほどよく全体を引き締めてくれる存在。軽やかな素材のなかに強さをひとさじ添え、甘いだけで終わらない凛としたニュアンスを生み出しています。

■製品の詳細

WOMEN・1型

フラワーエンブroidアリーダブルトレンチ

ブランド 80 周年を記念して誕生した本製品は、花のモチーフを全面にあしらったエンブroidアリーファブリックが印象的な一着です。クラシックな佇まいに、刺繍がもたらす立体感が、装いに新しさをもたらします。「SANYOCOAT」が長年培ってきたコートづくりの歩みに、春の気配を宿す一着が生まれました。



商品名：フラワーエンブroidアリーダブルトレンチ
税込価格：¥330,000 / サイズ：36 (S)・38 (M)
当社品番：T1A39-705 / 色展開：ベージュ

■【フラワーエンブroidアリーダブルトレンチ】販売店舗

フラワーエンブroidアリーダブルトレンチは、「サンヨーコート」の展開売場 10 店舗、及び三陽商会公式オンラインストア「SANYO ONLINE STORE」内の「SANYOCOAT」ブランド公式サイト&ストアをはじめ、一部の百貨店・商業施設においての期間限定店舗にて販売いたします。

① 店舗「サンヨーコート」売場

- ・ SANYO ESSENTIALS 日本橋高島屋 S.C. 店 (新館 3 階) 東京都中央区
- ・ SANYO ESSENTIALS 横浜高島屋店 (5 階) 神奈川県横浜市西区
- ・ SANYO ESSENTIALS 大丸東京店 (6 階) 東京都千代田区
- ・ SANYO ESSENTIALS ジェイアール名古屋タカシマヤ店 (6 階) 愛知県名古屋市中村区
- ・ SANYO ESSENTIALS 阪神梅田本店 (4 階) 大阪府大阪市北区
- ・ SANYO ESSENTIALS 札幌三越店 (本館 2 階) 北海道札幌市中央区
- ・ 三陽山長 東京ミッドタウン日比谷店 (2 階) 東京都千代田区

- ・三陽山長 粋 東京ミッドタウン八重洲店（1階） 東京都中央区
- ・三陽山長 ミッドランドスクエア店（3階） 愛知県名古屋市中村区
- ・三陽山長 粋 グラングリーン大阪店（南館2階） 大阪府大阪市北区

ほかポップアップショップ展開店舗 掲載ページ URL <https://store.sanyo-shokai.co.jp/blogs/pages/sc-shoplist>

② EC

「SANYOCOAT」ブランド公式サイト&ストア <https://store.sanyo-shokai.co.jp/pages/sanyocoat>

■SANYOCOAT（サンヨーコート）について

三陽商会の祖業ブランドである「サンヨーコート」は、2026年で80周年。戦後、物資が少ない中で1946年に防空暗幕を用いて作った紳士用の黒いレインコートが三陽商会のコート第一号です。2013年には、ものづくりへのこだわりを体現した『100年コート』の展開をスタートしました。

コンセプト：

「伝統と革新」「日本製」「こだわりの品質」をキーワードに、永く愛されるコートを作り続けています。手入れをしながら、時代や世代を超えて受け継がれることを目指し、「いいものを永く、大切に使う日本人らしい文化」を発信していきます。

<https://store.sanyo-shokai.co.jp/pages/sanyocoat>

■サンヨーソーイング 青森ファクトリーについて

当社の祖業アイテムでもあるコートの生産を手がける、コート専門57年（1969年創立）の工場で、当社のものづくりの根幹ともいえる国内工場です。工程数の多いコートを正確に縫製し仕上げる技術は、当社製品の生産に加えて、近年ではセレクトショップなど他の複数のアパレルメーカーからも受注を受け、中でも綿のギャバジン素材によるトレンチコートの生産技術については高い評価をいただいております。

2021年2月、複数の設備投入をおこない新たにR&D機能を持たせることで、近年の需要に即した生産体制を確立。ダウンコート生産の内製化や新アイテムの開発など、トレンチコートに留まらない製品の生産に取り組んでいます。



サンヨーソーイング 青森ファクトリー

<https://www.sanyo-factories.jp/sewing.html>

<この件に関する消費者からのお問い合わせ先>
株式会社三陽商会 カスタマーサポート
0120-340-460 受付時間：11：00-17：00（平日のみ）